



# 久保田由夫 ほっと通信



NO. 104  
2020. 9月号  
【部内資料】

発行 くぼたよしお事務所 ☎42-6361 fax 42-5630

<久保田由夫のブログ・ツイッター・フェイスブックもご覧ください>



## <季節の写真>

9月に入って、花が咲き始めたそば畑  
(丸子地域東内地区)

◆藤野やすふみ衆議院議員より次のようなお便りが届きました。 ◆「8月28日、安倍総理が辞任を表明しました。病気が理由とのことですので、治療に専念していただきたいと思います。ただ、総理が辞任しても、自公政権は続いています。30日のNHK討論で世耕自民党参院幹事長は「いずれにしても安倍政権を継承する」旨発言しました。自民党内のたらいまわしでなく、自公政治そのものの転換が必要です。同じ30日、長野県松本市で、中信市民連合主催「第2回市民と野党の共通政策討論会」に参加しました。市民の皆さんから、「明日からでも野党の政策協議をやってほしい」「北海道から沖縄まで野党合同街宣をやるべき」「共産党も入った『影の内閣』を早くつくってほしい」など熱い意見が相次ぎました。「安倍総理がいなくなった以上、『反安倍』でなく、政策の中身、政治の中身で野党が一致して訴えないといけない」との意見も。その通りです。アベ政治にかわる前向きな選択肢を高く掲げて、私も比例の候補者として全力で頑張ります！」 ◆私は8月中旬に、三密を避けながら4つの団体との懇談会に参加しました。(関連記事裏面) 懇談会を通して、市民のさまざまな意見をつかむことができました。聞きっぱなしにならないように、市政などに少しでも活かせるようにしていきたいと思っています。(くぼた よしお)

## 「災害に強いまちづくり」「ポストコロナを展望して」(9月議会一般質問を通告)

### ◆災害に強いまちづくり

#### ◎令和元年東日本台風災害の復旧・復興について

○上田電鉄別所線は令和3年3月28日に全線で運行を再開することだが、乗客数を災害前に戻すためにどのような取り組みを進めていくか。

(参考)



【上記は市議会に提出された資料】

○次の箇所での災害復旧の進捗状況はどうか。

- ・丸子地域の内村橋の架け替え事業
- ・真田地域の市道横沢角間線
- ・武石地域の番所ヶ原スキー場

#### ◎新型コロナウイルス感染症対応における避難所の開設・運営について

○新型コロナウイルス感染症対策により、避難所の収容人数が大幅に減少すると予想されるため、災害時の避難所の増設が課題となるが、どのように対応するか。

- 市は、感染防止として、広報で分散避難を呼び掛けているが、自宅や親戚宅等へ避難した場合、安否や所在の確認方法、各避難所への物資・食料の配布方法等は、どのように対応していくか。
- 新庁舎に災害対策本部室を設置するが、災害対応についてどのように機能強化を図るのか。

### ◆ポストコロナを展望して

#### ◎「地方分散」の重要性と可能性について

- ポストコロナ時代は、日本社会を持続可能なものとしていくためにも東京一極集中の「都市集中型」よりも、「地方分散型」が重要だと考えるが、見解はどうか。(市長に)
- 上田市の人口の社会動態の状況はどうか。移住定住や空き家バンクの現在の取組状況と今後の予定はどうか。

#### ◎コロナ危機と地域経済について

- 8月に上田市商工会役員との懇談で現場の生の声を伺った。市が4月に施行した上田市中心小企業・小規模振興条例の第12条に「意見の聴取等」が明記されている。条例に基づき、中小企業をはじめとする関係者の方々から意見を聴取する予定はあるか。

#### 【一般質問のねらい等】

- ※議会運営委員会の協議により、45分から30分に短縮されており、質問項目は絞ったものになりました。
- ※6月議会において時間切れとなった災害対応に関すること。
- ※避難所対応や来年の新庁舎建設に合わせて、防災対策機能の強化に関すること。
- ※新型コロナに対応して現在進行中の対策と収束後を展望した各種施策に関すること。